

St.Mary's College Campus Letter

MADONNA

聖マリア学院大学キャンパスレター「マドンナ」

特集

聖マリア学院大学大学院看護学研究科
専門看護師(CNS: Certified Nurse Specialist)の養成

Vol.

22

2020.3



ピエタを見た キリシタン

ローマバチカンのサン・ピエトロ大聖堂に入って右側にピエタPietà像がある。十字架から降ろされたキリストを抱く聖母マリアの彫刻であり、1499年にミケランジェロにより完成されたものである。ミケランジェロによる他の未完のピエタ像や、他の芸術家による絵画や彫刻を含め幾つかのピエタと名前のつく作品があるが、このPietàには心打たれるものがある。

ピエタ像はサン・ピエトロ大聖堂の隣接地から、同大聖堂の再建計画に伴い聖堂内に移され、1749年からは現在の場所に設置されている。再建完成は1626年であるが、その前からピエタ像は大聖堂内に移されていた。伊達政宗の家臣のキリシ

タン武将支倉常長は、メキシコを経て1615年にローマ教皇に謁見したが、当時サン・ピエトロ大聖堂はほぼ再建完成の域にあり、その全容を見た初めての日本人キリシタンであろうとされている。ピエタ像も同大聖堂にあったであろう。しかしながら、そのひと昔前に東洋の日本からの初めての使節としてローマを訪問し大歓迎を受けた天正の少年使節や、このローマ市民権証書をも受けた支倉常長は、共に大歓迎されてしまい、静かにピエタを見る機会はなかったのではなからうか。

ピエタと静かに向かい合うことの出来たキリシタンがいる。キリシタン時代に神父の道を志し、ローマまで辿り着いた日本人キリ



学 長 井 手 三 郎

シタン達だ。九州の豊後出身で、マカオからインド・ゴアへ、そしてアラビアの砂漠を踏破したペトロ・カスィ岐部は、1620年にエルサレムを経てローマに辿り着き司祭に叙階されている。1622年に、イエズス会の創設者イグナチオ・ロヨラと我が国にキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルの列聖式がサン・ピエトロ大聖堂で執り行われた。ペトロ・カスィ岐部神父は、前年にローマ入りした美濃出身の日本人キリシタンのミゲル・ミノエスと共にその列聖式に参列している。ミゲル・ミノエスは、共に行動してきたペトロ・カスィ岐部とインド・ゴアにて別れ、キリシタン時代の最後の邦人司祭となる運命を持った小西マシヨ（キリシタン武将・小西行長の孫で、対馬藩主・

帰国の意思を固め、禁教下の日本での殉教の覚悟を決めたとされる。このPietàを前に…。

その頃、我が国では江戸幕府によりキリシタン禁教令（1612年）が出され、そして大坂の陣が終わり（1615年）、長崎では11の教会の他、多くのキリシタン施設が破却された。ミゼリコルディアの病院であるサンチャゴ病

院も取り崩され（1620年）、キリシタンによるそのミゼリコルディアの組（慈悲の組）自体の活動も終焉（1633年、最後のミゼリコルディアの組長ミゲル・薬屋の殉教）に向かう時代であった。

Pietàは、イタリア語で憐れみや慈悲の意味。そしてラテン語のMisericordiaとは「ラテン語で慈悲や慈しみの意味。Misericordia et Caritas（慈しみと愛）」。ペトロ・カスィ岐部とミゲル・ミノエスの二人のキリシタン神父はこのPietàを前に、静かにMisericordia et Caritasと祈ったのではなからうか。遠くローマでの、400年も前の事である。

<参考文献> H.チースリク（著）、高祖敏明（編）；キリシタン時代の日本人司祭、教文館、2004。

目次

1 巻頭言

ピエタを見たキリシタン

3 特集

聖マリア学院大学大学院 看護学研究科
専門看護師（ONS: Certified Nurse Specialist）の養成

5 CAMPUS TOPICS

- ホームページOPEN
（ロイアカデミア看護学研究センター）
Roy Academia Nursing Research Center
- フランシスコ・ボランティアキャンプ
2019
- ASEACC2019
学生会議に参加して
- 海外実習を行いました

- 東北震災ボランティア
～ 私たちにできること～
- 看護専門職者としての決意を新たに
- 「マリア祭2019」を開催しました

- 聖マリアグループの合同クリスマス開催

9 お知らせ

- 令和元年度 科学研究費助成事業
採択者一覧
- 皆様からのご支援、ありがとうございます
～ 寄付金受入のご報告と御礼～

聖マリア学院大学の教育理念

聖マリア学院大学は、「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究を行って、豊かな人間性と深い教養を見え、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を養い、広く人間社会の健康に寄与できる篤実有能な人材を育成することを目的としています。



聖マリア学院大学の教育の特色

- 「人間の尊厳・生命を尊重する倫理、生命倫理教育」による倫理的判断能力／専門職としてのケアリング／ヒューマンケアの実践能力の育成
- シスター・カリスト・ロイ博士提唱の「ロイ適応看護モデル」に基づく科学的思考と問題解決能力の育成
- 聖マリア病院とともに長年の国際保健医療協力を連携して実践している「国際看護学」の教育



聖マリア学院大学大学院 看護学研究科 専門看護師(CNS: Certified Nurse Specialist)の養成

専門看護師とは、水準の高い看護を効率よく行うための技術と知識を深め、卓越した看護を実践できると認められた看護師です。専門看護師になるためには、実務研修が通算5年以上あり(そのうち専門看護分野3年以上)、看護系の大学院で修士課程を修了して

必要な単位を取得した後に、専門看護師認定審査に合格しなければなりません。そして免許取得後は、5年ごとに免許の更新審査を受けなければなりません。
現在、我が国では2479名(2020年3月11日現在)の専門看護師が全国で活動してい

ます。聖マリア学院大学大学院は、専門看護師の教育機関として認定されており、2010年より慢性疾患看護専門看護師コースと母性看護専門看護師コースを設置し、慢性疾患看護及び母性看護の分野において専門看護師を輩出しています。本年度の日本看護協会による認定審査においても新たに4名が合格しました。

本学大学院では、引き続き、看護職のスペシャリストを目指す皆様を歓迎し、高度実践看護師の養成に努めてまいります。

※2020年3月11日現在 専門看護師の登録者数(日本看護協会)
○慢性疾患看護 206名
(福岡県内13名、うち本学大学院修了生8名)
○母性看護 80名
(うち本学大学院修了生2名)



2019年度の専門看護師(慢性疾患看護)認定審査に合格したお二人(写真左より)
山田由季さん/福岡大病院勤務、佐藤友紀さん/聖マリアヘルスケアセンター勤務
いずれも、2019年3月、本学大学院修了生。

修了生の声

慢性疾患看護
専門看護師

吉村綾子さん

誠愛リハビリテーション
病院 勤務
聖マリア学院大学
大学院看護学研究科
2016年度修了



看護師として、脳卒中患者さんのリハビリテーション看護に携わる中で、複雑で困難な事例に直面した時、どのように看護介入の糸口を見出し

ていくべきか思い悩むことがあり、専門看護師を目指し聖マリア学院大学大学院へ進学しました。正直、仕事と学業の両立は大変でしたが、

何よりも看護学を改めて学ぶ喜びと、その学びの成果が実践に繋がっていく充実感があり、大学院での学びが看護実践の大きな支えとなりました。

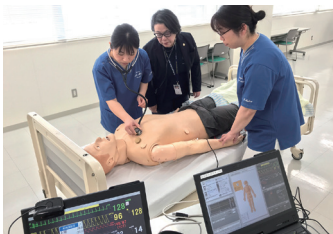


大学院修了後は、CNS(慢性疾患看護専門看護師)として、脳卒中の後遺症によりセルフケア能力が低下した患者さんに対して、入院当日から病棟看護師とともにアセスメントを行い、早期回復できるように看護介入に取り組んでいます。また、リハビリテーション看護の質の向上のためにスタッフ教育や研究のサポートをしています。これからも、より多くの仲間が専門看護師を目指すことを願い、共に看護実践能力の向上に努めていきたいと考えています。

大学院CNS(専門看護師)コース (Certified Nurse Specialist Course)

本大学院では、2分野で日本看護系大学協議会が認定する38単位カリキュラムのCNSコースを開講しています。

慢性疾患看護専門看護師コース



CNS 共通科目: ライフス/パンフィジカルアセスメント

慢性疾患を病む人々の看護に必要な理論や概念、CNSの機能について理解し、患者クライアントの自己管理能力とクオリティ・オブ・ライフを高め、地域社会に貢献する高度な実践について修得します。

母性看護専門看護師コース



PIC(周産期集中ケア)特論II 新生児蘇生法演習

各ライフステージにある女性及び周産期にある母子とその家族に対する理論や概念を理解し、高度実践看護師として地域に貢献するために必要な理論に基づく支援技術について修得します。

ホームページOPEN (ロイアカデミア看護学研究センター) Roy Academia Nursology Research Center

「ロイアカデミア看護学研究センター」は、2018年4月より本学大学院棟に設置、アメリカのRAAによって承認を受け、ロイ適応看護モデルの研究機関として活動を行っております。2019年12月8日に、本センターのホームページが開設し、センターにおける活動報告等、ご覧いただくことができますようになりました。また、ホームページの開設とともに、『Nursology Letter』の創刊号が発刊され、Nursology Letterには、米国のSister Callista Roy 博士、Jacqueline Fawcett 博士、Debra R. Hanna 博士、Leah Fitzgerald 博士によるお祝いメッセージが掲載されています。ぜひご覧ください。



Roy Academia Nursology Research Center :
<https://ranrc.jp/>

フランススコ・ボランティアキャンプ2019

私は8月5日から8月12日にかけて韓国で行われた、フランススコボランティアキャンプに参加しました。ボランティアを行ったコッソントンという場所では身寄りのない子供から、ホームレス、病気を患った人など多くの方が生活を共にしています。

活動を通して私が一番感じたのは誰かに愛されることがいかに大切であるかということです。施設に来る前は生死をさまよい、愛を知らなかった人々が愛されることで、目に光を灯し、生きる事が出来ているということに感動を覚えました。お世話になったブラザーによると、コッソントンが目指す世界は誰もが愛され、誰かを隣人のように愛し、全て



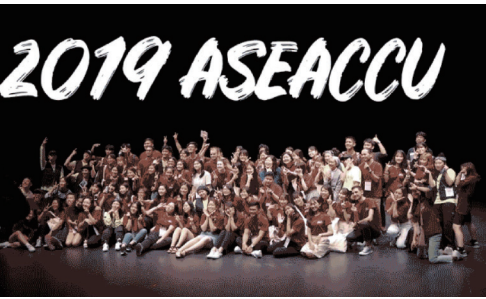
の人が神のように大切にされる世界だそうです。初め私はこの考えに少し宗教色が強いと感じてしまいましたが、活動を通して誰かに愛されることが、思われることがどれだけ人の心に影響するのかが目まぐるしく感じました。このような考えがもっと多くの人に伝わって欲しいと思います。

ボランティアの中で最も印象に残っている人が居ます。その方は障害を持っていますために、家族に捨てられ、ホームレスになった女性です。その方は初めのうちは、手を繋ぐことも会話をすることも拒みました。私はそれに対してすごくショックを受けたのですが、ずっと近くについて、目を合わせることで次第に打ち解け、最後に涙ながらに貴方の幸せを祈るといつてくれました。言葉や文化の壁に対して不安を抱いていた私にとってこの三言はとても大きな意味を持っています。言葉や国が違ってもそれは、あまり大きな問題ではありません。心からこの人を大切にしたいという気持ちが伝わるのが一番大切なかもしれないと活動を通して考えました。

渡邊真帆

ASEACCU2019 学生会議に参加して

私たちは、8月19日〜23日の期間に韓国で開催されたASEACCU学生会議に参加しました。今回のテーマはReconciliation and Situation in the East Asian Region、「北朝鮮の歴史について」「男女不平等と社会的差別」「21世紀において地球市民となるために」という3つの講義を通して自分達の考えをグループでディスカッションしました。その後、グループでテーマを決め、プレゼンテーションに臨みました。その準備を行う



ASEACCUホームページ(<http://aseaccu.org/>)より

にあたり、慣れない英語と難しい内容で不安が大きかったのですが、同じグループの仲間たちの助けを借りながら課題をクリアすることができました。どのグループの発表も素晴らしく、特にプレゼンテーションの技術が高い事に驚きました。グループのメンバーとは、北朝鮮との境界であるDMZに行ったり、ダンスの練習をしたりしました。言葉が通じなくても、一緒に活動することで自然と協力し合うことができました。非常に充実した体験をすることができました。

豊島花香、村中菜美

※ASEACCU(東南・東アジアカトリック大学連盟):日本、韓国、台湾、タイ、フィリピン、オーストラリア等の約70校のカトリック大学が加盟。「国際学生会議」では、各国の学生とグループディスカッションやプレゼンテーションを通して、その年のテーマについて理解を深め、親睦を深めています。

海外実習を行いました

本年度は、3つのグループ(地域)で海外実習が実施されました。フィリピンでは、貧困家庭が多い地域での実習や現地の子どもたちへ健康教育を実施したり、州立病院での分娩室見学実習など盛りだくさんでした。

韓国では、「韓方(はんぱん)医療」を学んだり、韓国最大の福祉施設「コッソントン」を訪れました。プサンカトリック大学では、7月に本学に入学した学生たちと再会し、交流を深めました。

ラオスでは、地方で人々の健康改善に取り組んでいるNPO団体ISAPHを訪ね、都市部とは異なるラオスの保健医療の現状について学ぶことができました。また、タイ

研修グループ	研修期間
フィリピン	7月28日〜8月 8日
韓国	8月19日〜8月30日
ラオス・タイ	9月 8日〜9月21日



分娩に立ち会わせてくださったお母さんと赤ちゃんと一緒に



ラオスの村のお祭りに、民族衣装を着用して参加しました

韓国カトリック大学看護学部長先生より実習の修了証書をいただきました



では、姉妹校のセントルイスカレッジやタイ看護協会を訪問、現地の看護制度や教育体制などを学ぶことができました。実習を通して、文化や慣習を尊重し、看護の対象となる人々とともに働いていくことの大切さをあらためて学びました。

東北震災ボランティア〜私たちにできること〜

本学では、毎年被災地へ学生ボランティアを派遣しています。

学生たちはカトリック教会関連の社会活動団体施設に滞在させていただき、現地の方々と共に農作業や漁業のお手伝いをしたり、子どもたちと触れ合う傍ら、被災地や震

災遺構を視察させていただくなど、テレビのニュース等だけでは知らない被災地の今を実感できる貴重な時間を過ごしました。
※現地での活動の様子は本学公式Facebookでも紹介しています。

南相馬 (参加者: 学生3名 教員1名)
期間: 8月30日～9月5日 滞在地: カリタス南相馬ベース



南三陸 (参加者: 学生6名)
期間: 9月3日～9月9日 滞在地: カリタス南三陸ベース



学院祭

「マリア祭2019」を開催しました

11月9日、学院祭が開催され、学内のあちこちで多くの模擬店が出展されました。本年度は、「かんたま祭2019」が同時開催となっており、会場となった体育館はナースウェアのファッションショーで盛り上がりしました。また、中央アジアからのJICA研修員（医師・看護師・助産師等）をお迎えし、ナーシングキャリアカフェを実施、体験教室や公開講座も開講され、イベント盛りだくさんの一日となりました。



図書館では古本市がオープン



ナーシングキャリアカフェ (JICA研修員を迎えて)



ナースウェアのファッションショー (かんたま祭)

召命のつどい

看護専門職者としての決意を新たに

令和元年10月12日(土) 10時より、聖マリア病院雪の聖母聖堂において「召命のつどい」が執り行われ、本学看護学部1年生が式に臨みました。「召命のつどい」は、本学の前身、聖マリア短期大学における「祝帽式(戴帽式)」が、その伝統を継承しつつ、名称を改め執り行われているものです。聖堂の静かで厳かな空間の中で、本学の建学の精神「カトリックの愛の精神」を思い起こしながら、人として、また看護専門職者として、高い倫理観と責任感をもって行動することができるよう、神のお導きを願う祈りのひとときとなりました。



第67回合同クリスマス

聖マリアグループの合同クリスマス開催

12月25日、聖マリア病院開設時からの伝統行事であるクリスマス会が開催されました。本学の学生、教職員も毎年参加しています。冷たい雨が降りしきる中、聖歌隊は、聖

マリア病院、聖マリアヘルスケアセンターの各病棟、またメゾンマリア(高齢者福祉施設)を訪ね、患者さんや入所者さんを見舞い、歌のプレゼントを届けました。



令和元年度 科学研究費助成事業 採択者一覧

本学では、教育への還元を前提とした各専門領域における学術研究推進方策の一環として外部研究資金の獲得を推奨しているところ
 です。令和元年度の外部研究費(科学研究費助成事業)に関する採択状況については下記のとおりです。

○研究代表者

	研究種目 [新規4件、継続8件]	研究課題名	代表者名
新規	基盤研究C	看護基礎教育におけるソーシャルスキル獲得のための段階的教育プログラムの開発	石本祥子
	基盤研究C	ウガンダ難民定住地における女性を対象とした暴力の実態調査	秦野環
	若手研究	多様性をいかす病棟師長のタイバーシティ・マネジメント	近末清美
	研究活動スタート支援	看護学生のインシデントに対する看護教員のかかわりの実態と関連要因	古村沙織
継続	基盤研究C	自己イメージに焦点を当てた支援プログラムが中堅前期看護師の看護実践力に及ぼす影響	鶴田明美
	基盤研究C	自発性を賦活させる熟練看護師の看護実践を支える暗黙知の解明	小浜さつき
	基盤研究C	在宅ホスピスでの患者と家族に対するナラティブ・アプローチのプログラム開発	安藤満代
	基盤研究C	若年女性の妊孕性に関する意思決定支援に向けた看護基礎教育プログラムの開発	桃井雅子
	基盤研究C	都市型準限界集落のソーシャルキャピタルコーディネーター育成プログラム開発と評価	眞崎直子
	若手研究B	倫理教育教材の開発につながる臨床看護師のMoral Residueに関する研究	井手(小森)あき奈
	若手研究B	介護老人福祉施設におけるPDアプローチによる感染対策効果の検討	渋江晩春
	研究活動スタート支援	男性不妊当事者の求める心理的支援の実態―心理的支援体制の構築を目指して―	井口亜由

○研究分担者

	研究種目 [15件]	研究課題名	分担者名
研究 分 担 者	基盤研究B	長期に渡る戦争による反復的Trauma体験が後年の心身に及ぼす影響に関する調査	秦野環
	基盤研究B	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成	安藤満代
	基盤研究B	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成	日高艶子
	基盤研究B	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成	谷多江子
	基盤研究B	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成	井手悠一郎
	基盤研究B	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成	小浜さつき
	基盤研究B	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成	石本祥子
	基盤研究B	実践知を基盤とした「安楽」をもたらす包括的コンピテンシー・プログラムの開発	桃井雅子
	基盤研究C	看護学生の自己調整学習の特徴―「自ら学ぶ力」を育成する方略の探索―	鶴田明美
	基盤研究C	自発性を賦活させる熟練看護師の看護実践を支える暗黙知の解明	日高艶子
	基盤研究C	看護基礎教育におけるソーシャルスキル獲得のための段階的教育プログラムの開発	日高艶子
	基盤研究C	看護基礎教育におけるソーシャルスキル獲得のための段階的教育プログラムの開発	小浜さつき
	基盤研究C	地域に密着した住民の主体的介護促進のための教育支援モデルの開発	眞崎直子
	基盤研究C	労働者のワーク・ファミリー・コンフリクト、職場環境と健康関連QOLとの関連	眞崎直子
	基盤研究C	新人訪問看護師が「ひとりで訪問できる」ために必要な看護実践能力の評価指標の作成	眞崎直子

皆様からのご支援、
ありがとうございます
～寄付金受入のご報告と御礼～



個人様からの
 寄付金受入れ総額
17,853,000円
 (2008.3～2019.12累計)

法人様からの
 寄付金受入れ総額
19,850,000円
 (2008.3～2019.12累計)

聖マリア学院大学におきましては、その前身・短期大学の頃よりの寄付金募集事業を継承し、平成18年の開学(既設短期大学からの発展的改組)、平成22年の大学院開設、平成25年の専攻科助産学専攻の設置、更には開学10周年を経て平成29年の図書館棟新築等、これらの節目事業を含んだ教育研究環境の一層の充実のため、広く皆様方よりご支援をいただきながら大学の運営を行っております。ここに改めて衷心より感謝の意を表し、寄付者ご芳名を掲載させていただくものです。

<2008年(平成20年)3月～2019年(令和元年)12月寄付受入分>

個人様 (敬称略、順不同／在学生ご家族、同窓生、役員、教職員他)						
荒巻初子	有吉浩美	家入留美子	井手三郎	井手信	井原明美	入部久子
宇山由里子	浦美穂子	浦田美保子	江口須賀子	大石利香	大楠綾子	大津山彩
大野千代美	大谷文女	岡村優子	尾西ゆみ子	片山慶子	門内正子	加納由美
川崎和子	河田淳子	川崎育子	川原洋子	川村千鶴	北原勇	北村初代
木下まさみ	草野圭子	草柳美雪	栗山由美子	小西逸代	坂口由美	坂本由貴
重留万希子	城後鈴美	白土由美子	菅原美恵子	鈴木良子	世登亜貴奈	高倉幸子
竹原明子	田崎美穂子	田中千恵美	田中洋子	尋木彦次	中川武子	中小田千鶴子
中島成子	中島千壽子	中ノ森美知子	中山和道	永松雄一郎	中村京子	西坂美佐
西山かおり	野上幸子	野田利子	橋口ちどり	橋本ふさ代	橋本陽子	花田千秋
馬場絹代	濱崎佐智恵	浜崎もと子	福永仁美	福山雅子	本淨尋子	松尾美香
松原富士子	松村ひろの	松本昌子	溝田圭子	三河さやか	三苫香代子	蓑田ヒロミ
宮崎務	森山百合子	安岡智美	柳本朋子	山岸寿子	山田公子	山田佐恵美
山田牧子	山口智恵子	山口文子	山村由記子	矢野正子	湯川武	涌井幸江
綿島悟子	渡邊千代子	他・匿名				

法人様 (敬称略、順不同／地場企業、関係諸機関・団体等)		
株式会社アド福岡	株式会社九州AV	株式会社九州神陵文庫
株式会社九州総合ユニフォーム	九州ビルサービス株式会社	廣告社株式会社福岡支社
秀栄建設株式会社	新生ビルメンテナンス株式会社	株式会社スギヤマ
第一警備保障株式会社久留米支社	株式会社筑邦銀行	戸田建設株式会社九州支店
株式会社成田美装センター	株式会社西日本企画サービス	日商保険コンサルティング株式会社
橋本事務機株式会社	福岡医療関連協業組合	富士ゼロックス福岡株式会社
社会医療法人雪の聖母会(聖マリア病院)	他・匿名	

寄付金に関するご照会・お申込
聖マリア学院大学 募金事務局
 〒830-8558 福岡県久留米市津福本町422
 TEL 0942-35-7271 (代表)

教務課・学生課からのお知らせ

在学生、並びにご家族のみなさまへ

■ 教務課からの各種お知らせについて

在学生並びにご家族の方に対し、授業の出席状況や単位認定試験の結果(再試験対象となる科目の有無)、成績通知書等をお届けしております。学生の皆さんにとっては既に周知の内容もあるかと思いますが、ご家族の皆さまにとりましても、大学生活や学修に関する情報を共有するものとして活用いただければ幸いです。

■ 「保健師」国家試験受験について (保健師コースの履修について)

本学では、2012年度入学生より「選択制」となっております。保健師国家試験の受験資格を得るためには、看護学部卒業に必要な単位数に加え、3年次以降に開講される「公衆衛生看護学」に関する所定の科目の単位を修得する必要があります。保健師コース履修を希望する場合は、2年次後期に申込み手続きを行い、学内選考により履修者を決定します(学生の皆さんには選考試験の概要並びに選考日等詳細については既に説明を終えています)。なお、保健師コース履修には、課程履修費として、別途80,000円が必要になります(平成29年度履修者より適用)。

■ 大学での履修について

科目の履修に際しては、特定の科目については履修要件があることや(※)、上級学年に進級するための要件(進級要件)があること、卒業までに要する科目や単位数(卒業要件)が定められていることなど、予め知っておくべき重要な事項があります。これらは、年度始めに配布する「履修の手引き」に明記されていますので、学生の皆さんは、履修ガイドランスに参加することはもちろんですが、自ら履修に関する情報を収集し、把握するように努めることも必要です。なお、カリキュラム改正等に伴い、履修に関する諸規程も改正となることがあります。入学年度によって適用する規程が異なることがありますので、不明な点が生じた場合は教務課へお尋ねください。
【※:基盤臨床系科目や各論実習科目を履修するためには、各々の科目の履修要件(例:科目Bを履修するためには科目Aの試験に合格していることが必要)などを満たす必要があります。】



本学の奨学金制度について

詳細につきましては学生課までお問い合わせください。

☎0942-50-0222

特待奨学金

金額:50万円または20万円
返還義務:なし
採用人数:若干名

子弟等奨学金

金額:入学金相当額の半額
返還義務:なし

緊急時奨学金

金額:当該学期の学納金相当額を上限
返還義務なし 採用人数:若干名

雪の聖母会聖マリア病院 聖マリア奨学金

金額:年間の授業料相当額を上限
返還義務:卒業時に一括返還※
貸与期間:修業年間に上限 採用人数:若干名

※聖マリア病院へ就職した場合は、給与より返還

編集後記

重要な意思決定を必要とする局面において、判断の材料となるのは、感情に惑わされない客観的な状況判断能力、その後発生しうる事象・可能性等の予測能力、そして経験であろう。状況判断力や予測力もまた経験によって培われる。成功も失敗も、その二つの積み重ねが自分のエビデンスとなつて次の決断時に次に再び活かされる。

自身のこれまでの振り返ると、難題に挑戦したこと、乗り越えるために努力したこと、失敗の経験ほど、その後の自分の糧となり、今では自信や誇りに繋がっていることに気づかされる。当時は唯々辛かったが。

学生の皆さんは、日々の学生生活の中で貴重な経験を積むチャンスをつくも持っている。学生時代の今しか挑戦できないこと、研究活動、自己研鑽、ボランティア活動、etc. 苦しいことも多々あるかも知れないが、恐れず逃げ出さず前向きに挑戦、経験を積み重ねていただきたい。数年後ふと振り返った時、それがいつしか「あなた」という人を形づくる要素となり、未来のあなたを支えているはずだから。


St. Mary's College
聖マリア学院大学

